



2021年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月10日

上場会社名 株式会社 アイフィスジャパン
 コード番号 7833 URL <https://www.ifis.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理ディレクター
 四半期報告書提出予定日 2021年5月11日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 大澤 弘毅
 (氏名) 渡邊 勝仁
 TEL 03-6825-1250

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	1,495	10.2	207	12.4	215	9.4	158	2.1
2020年12月期第1四半期	1,665	11.5	236	10.0	237	10.2	155	11.9

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 162百万円 (5.5%) 2020年12月期第1四半期 153百万円 (13.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	16.43	
2020年12月期第1四半期	16.08	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第1四半期	5,245	4,383	83.6	453.81
2020年12月期	5,190	4,351	83.8	450.51

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 4,383百万円 2020年12月期 4,351百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期		0.00		13.50	13.50
2021年12月期					
2021年12月期(予想)		0.00		15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,750	1.7	330	2.3	330	4.3	214	2.3	22.15
通期	5,600	4.6	750	8.2	750	7.1	484	7.8	50.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期1Q	10,242,000 株	2020年12月期	10,242,000 株
期末自己株式数	2021年12月期1Q	582,305 株	2020年12月期	582,305 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期1Q	9,659,695 株	2020年12月期1Q	9,659,695 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大や感染者数の増加する地域において緊急事態宣言の再発令が出るなど、企業活動や個人消費が大幅に制限され、景気は依然として厳しい状況が続きました。

当事業と関連性が高い証券市場においては、日経平均株価が1990年8月以来、30年6カ月ぶりに3万円を超える高値をつけ、3月は個人投資家の年度末配当取りや機関投資家の利益確定売りなどの要因から、日経平均株価が乱高下する場面があり不安定な相場となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,495百万円(前年同期比10.20%減)、営業利益は207百万円(前年同期比12.4%減)となりました。また、経常利益は215百万円(前年同期比9.4%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は158百万円(前年同期比2.1%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。

<投資情報事業>

証券会社に提供している証券レポート作成システムの受注が業績に寄与したとともに、連結子会社である株式会社キャピタル・アイが提供する資本市場関係者向けリアルタイムニュース『キャピタルアイ・ニュース』も堅調に推移しております。一方、ネット証券会社に提供している個人投資家向けコンテンツ開発案件の納品及び検収時期のずれ込みが生じたこと、また、サービス品質の強化を目的とした人員体制の増強などを行っているため、販売費及び一般管理費が増加となり、売上・営業利益ともに減少となりました。

その結果、売上高は352百万円(前年同期比28百万円減、7.4%減)、営業利益は136百万円(前年同期比14百万円減、9.5%減)となりました。

<ドキュメントソリューション事業>

企業年金関連のソリューションサービスが売上を大きく伸ばし業績に寄与しております。一方、連結子会社である株式会社アイコスの翻訳・通訳サービスや株式会社東京ロジプロの物流サービスについては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で海外インバウンドの需要が消失したことなどにより売上・営業利益の減少となりました。

その結果、売上高は626百万円(前年同期比57百万円減、8.4%減)、営業利益は81百万円(前年同期比4百万円減、5.5%減)となりました。

<ファンドディスクロージャー事業>

新サービスの企画・開発及び既存サービスの改良に注力したことの影響により、既存の投資信託関連の印刷受注量は前年同期比で減少となりましたが、外注費などのコスト削減効果があり、販売費及び一般管理費が減少し、前年同期比で減収増益となっております。

その結果、売上高は354百万円(前年同期比7百万円減、2.2%減)、営業利益は70百万円(前年同期比4百万円増、6.7%増)となりました。

<ITソリューション事業>

主力事業である事業会社向けの受託開発を行っているビジネスソリューションの受注が減少しており、販売費及び一般管理費を削減するも、前年同期比で減収減益となっております。

その結果、売上高は162百万円(前年同期比75百万円減、31.9%減)、営業利益は10百万円(前年同期比14百万円減、57.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ54百万円増加し、5,245百万円となりました。

流動資産合計は39百万円増加し、4,612百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が102百万円増加した一方で、現金及び預金が33百万円、仕掛品が26百万円減少したことによるものであります。

固定資産合計は14百万円増加し、633百万円となりました。主な要因は、繰延税金資産が17百万円増加した一方で、のれんが償却により11百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ22百万円増加し、861百万円となりました。

流動負債は73百万円増加し、787百万円となりました。主な要因は、買掛金が100百万円増加した一方で、未払法人税等が59百万円減少したことによるものであります。

固定負債は51百万円減少し、73百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ31百万円増加、4,383百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益158百万円の計上による増加と、剰余金の配当130百万円による減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月10日公表の2021年12月期通期の連結業績予想に変更はありません。今後、状況の進展や事業動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,945,288	3,911,314
受取手形及び売掛金	551,814	653,917
仕掛品	31,983	5,174
その他	43,303	41,611
流動資産合計	4,572,389	4,612,017
固定資産		
有形固定資産	59,303	58,632
無形固定資産		
のれん	227,619	215,932
ソフトウェア	97,761	100,134
ソフトウェア仮勘定	6,712	12,490
その他	1,469	1,469
無形固定資産合計	333,563	330,026
投資その他の資産	225,686	244,385
固定資産合計	618,553	633,044
資産合計	5,190,943	5,245,061
負債の部		
流動負債		
買掛金	214,264	314,727
未払法人税等	140,617	81,361
賞与引当金	15,414	62,401
その他	343,709	329,069
流動負債合計	714,006	787,559
固定負債		
退職給付に係る負債	17,933	18,861
その他	107,214	54,995
固定負債合計	125,147	73,857
負債合計	839,154	861,416
純資産の部		
株主資本		
資本金	382,510	382,510
資本剰余金	438,310	438,310
利益剰余金	3,602,296	3,630,555
自己株式	△77,975	△77,975
株主資本合計	4,345,140	4,373,399
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△303	△334
為替換算調整勘定	6,952	10,580
その他の包括利益累計額合計	6,648	10,245
純資産合計	4,351,789	4,383,644
負債純資産合計	5,190,943	5,245,061

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	1,665,421	1,495,474
売上原価	1,049,705	922,558
売上総利益	615,715	572,916
販売費及び一般管理費	378,867	365,426
営業利益	236,848	207,490
営業外収益		
受取利息	363	337
受取配当金	96	125
持分法による投資利益	367	344
為替差益	—	1,845
助成金収入	600	—
保険解約返戻金	—	1,062
受取保険金	—	3,859
その他	143	111
営業外収益合計	1,570	7,685
営業外費用		
為替差損	970	—
その他	0	26
営業外費用合計	970	26
経常利益	237,448	215,149
税金等調整前四半期純利益	237,448	215,149
法人税、住民税及び事業税	91,488	73,906
法人税等調整額	△9,394	△17,420
法人税等合計	82,093	56,485
四半期純利益	155,355	158,664
親会社株主に帰属する四半期純利益	155,355	158,664

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	155,355	158,664
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△208	△31
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,324	3,627
その他の包括利益合計	△1,532	3,596
四半期包括利益	153,822	162,261
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	153,822	162,261

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)3	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	投資情報 事業	ドキュメン トソリューション 事業	ファンドデ ィスクロー ジャー事業	I Tソリュ ーション 事業				
売上高								
外部顧客への売上高	381,206	683,858	361,909	238,447	—	1,665,421	—	1,665,421
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,600	1,677	—	10,555	—	15,833	△15,833	—
計	384,806	685,535	361,909	249,003	—	1,681,254	△15,833	1,665,421
セグメント利益	151,139	85,992	66,130	25,502	—	328,764	△91,916	236,848

- (注) 1. セグメント利益の調整額△91,916千円には、セグメント間取引消去△68千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△91,847千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データ化サービス等の事業を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)3	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	投資情報 事業	ドキュメン トソリューション 事業	ファンドデ ィスクロー ジャー事業	I Tソリュ ーション 事業				
売上高								
外部顧客への売上高	352,871	626,078	354,025	162,499	—	1,495,474	—	1,495,474
セグメント間の内部 売上高又は振替高	750	966	—	18,591	—	20,307	△20,307	—
計	353,621	627,044	354,025	181,090	—	1,515,781	△20,307	1,495,474
セグメント利益	136,853	81,250	70,539	10,768	—	299,413	△91,923	207,490

- (注) 1. セグメント利益の調整額△91,923千円には、セグメント間取引消去△94千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△91,828千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データ化サービス等の事業を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。